

麻酔科

1. スタッフ (平成29年4月1日現在)

科 長 (教 授) 竹内 護
 (子ども医療センター兼任)

外来医長 (准 教授) 五十嵐 孝 (中央手術部兼任)

医 員 (准 教授) 多賀 直行
 (子ども医療センター兼任)

(准 教授) 堀田 訓久
 (准 教授) 佐藤 正章
 (学内准教授) 門崎 衛
 (子ども医療センター兼任)

(講 師) 丹羽 康則 (中央手術部兼任)

(助 教) 平 幸輝
 (助 教) 清水かおり
 (助 教) 大塚 洋司
 (子ども医療センター兼任)

(助 教) 玉井 謙次

病院助教 永野 達也
 (子ども医療センター兼任)

篠原 貴子
 島田 宣弘
 岩井 英隆
 (子ども医療センター兼任)

永川 敦士
 方山 加奈
 吉積 優子
 橘木 浩平
 (子ども医療センター兼任)

シニアレジデント 14名

2. 診療科の特徴

2016年、当院では中央手術部および子ども病院手術室において、年間9,306件の手術を行った。当科は6,974件に及ぶ多彩な手術および検査の麻酔管理を担当している。麻酔科管理症例のうち、1,115件を緊急手術が占めており、栃木県のみならず茨城県南西部・埼玉県北部・福島県や群馬県の一部など北関東一円からの急患に24時間対応している。

手術内容・患者背景はともに多彩であり、心臓・大血管手術や呼吸器外科だけでなく、国内で有数の症例数を誇る小児生体肝移植にもチームの一員として参加している。

また、手術麻酔だけでなく、術後の鎮痛対策にも力を入れており、機械式ポンプを用いた自己調節鎮痛や超音波ガイド下神経ブロックを積極的に取り入れている。また手術室外の活動として、ペインクリニック外来や緩和

ケア病棟での痛みのコントロールや、手術室外での検査や手術の麻酔や鎮静なども担当している。また、鍼灸外来を開設し東洋医学的アプローチにも積極的に取り組んでいる。

・施設認定

日本麻酔科学会麻酔科認定病院
 日本ペインクリニック学会指定研修施設
 心臓血管麻酔専門医認定施設

・認定医

厚生労働省麻酔標榜医	竹内 護	他29名
日本麻酔科学会認定医	竹内 護	他26名
日本麻酔科学会専門医	竹内 護	他20名
日本麻酔科学会指導医	竹内 護	他10名
日本ペインクリニック学会専門医		
	五十嵐 孝	他2名
日本集中治療医学会専門医	竹内 護	他5名
心臓血管麻酔専門医	竹内 護	他4名
日本蘇生学会蘇生法指導医	五十嵐 孝	
日本救急医学会専門医	五十嵐 孝	他1名
日本小児科学会専門医	橘木 浩平	
日本周術期経食道心エコー認定医		
	多賀 直行	他3名
日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医		
	佐藤 正章	他1名
American Society of Anesthesiologists, member		
	竹内 護	他1名
International Anesthesia Research Society, member		
	竹内 護	他1名
European Association of Cardiothoracic Anaesthesiologists, member		
	竹内 護	
The Society of Critical Care Medicine, member		
	多賀 直行	

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数	72人
再来患者数	5,043人
紹介率	50.8%
手術患者外来術前診察	5,570人
鍼灸外来	280人

2) 入院患者数

エピドラスコピーほか 8人

3) 手術症例病名別件数

エピドラスコピー

腰椎術後痛 3人

Raczカテーテル

腰椎術後痛 1人

脊髄刺激電極埋め込み術

複合性局所疼痛症候群 2人

腰部交換神経節ブロック

バージャー病 1人

くも膜下フェノールブロック

仙骨腫瘍 2人

腹腔神経叢ブロック

膵臓がん 2人

4) 治療成績

腰椎術後痛 軽快 4人

複合性局所疼痛症候群 軽快 1人

バージャー病 軽快 1人

仙骨腫瘍痛 軽快 1人

すい臓がん・がん性疼痛 軽快 2人

5) 合併症例

なし

6) 死亡症例・死因・剖検数・剖検率

なし

7) 主な検査・処置・治療件数

手術麻酔

全身麻酔（硬膜外麻酔併用を含む） 6122件

脊髄くも膜下麻酔（硬膜外麻酔併用を含む）

842件

伝達麻酔・その他 10件

麻酔科外来処置

星状神経節ブロック 130回

三叉神経ブロック 38回

硬膜外ブロック 266回

トリガー注射 217回

その他のブロック 220回

鍼 280回

透視下各種ブロック 18回

スーパーライザー等 939回

点滴 307回

その他の処置 2回

8) カンファランス症例

手術患者術前カンファランス 245回

手術患者術後カンファランス 245回

症例検討カンファランス 24回

9) キャンサーボード

なし

4. 2017年の目標・事業計画等

・手術麻酔業務の充実

当院では、高度な手術や重症患者の麻酔管理が多く、十分な知識や技術の習得が必要とされる。麻酔科専門医を目指す医師の教育・研修を充実させ、より多くの手術麻酔を担当することを目指す。

・労働条件の健全化

中央手術部における麻酔科管理の手術件数に対して、麻酔科標榜医、専門医は不足している。労働条件の健全化が患者安全管理の基本であり、就労環境の向上が望まれる。各職員が希望を持って患者様の期待に応じて働く事の出来る就業環境へ整えていきたい。